

県中教育

随 想



「学力向上にむけて」
県中教育事務所所長
佐藤 馨

五月の下旬から各学校に訪問しています。今のところ、小学校が多く、中学校は少し、県立学校は二学期からとなります。

私は、高等学校の教員として長年やってきましたので、小・中学校の授業を毎回新鮮な気持ちで見えています。

まず感心するのは、どの学校でも、小学校一年生がきちんと先生を見て授業に集中していることです。外で見かける小学校低学年の子は、危なっかしいほどにちよこちよこしているのに、入学して約二ヶ月後には、学ぶ姿勢がきちんと出来るということに驚きを感じました。先生方のご指導の賜と思っています。

小・中学校の児童・生徒達は、総じて一生懸命授業に取り組んでいます。先生方も、丁寧でわかりやすい授業を心

佐藤 馨

「学力向上にむけて」

かけて工夫しており、気持ちよく授業参観が出来ます。少人数学級の良さを生かして個別指導も多く取り入れられています。市町村教育委員会の支援も充実しており、一人一人の児童・生徒が大切に育てられているということを実感しました。

また、すべての学校で、保護者や地域の方々の、学校に対する協力体制がしっかりしていることを聞きました。本当に有り難いことだと感謝します。学校教育に寄せる期待の大きさの表れと思います。

各校長先生方が必ずお話しされることは「学校の課題の第一は学力向上である。そのためには、先生方の指導力の向上が欠かせないので、現職教育を工夫している。」という事です。まさしくその通りだと思えます。各学校で積

編集・発行
福島県教育庁
県中教育事務所

発行責任者
佐藤 馨

編集協力

県中市町村教委連各支会
県中各地区小中学校長協議会

極的に「確かな学力の育成」に取り組んでいる様子が見えがえしました。また、全国学力調査やその他の学力検査の結果を分析し、弱点補強のための計画をしっかりと立てている学校も多くありました。家庭学習の習慣をつけるため、家庭との連携を重視している学校もありました。

学校の立地条件や規模などにより、有効な学力向上策は様々であると言えます。各学校が、それぞれ特色ある学校づくりを考え、我が校の児童・生徒の学力を向上させるために必要なことは何か、を十分に見極めて、自信を持って実践することが大切であると考えます。



随想 「クリキンデイのひと言」
郡山市教育委員会教育長
木村 孝雄

最近、「ハチドリ」のひとしずく（辻信一監修）という本を目にし、一瞬、自分や周りを見直す時を持てました。その雑感を綴ります。

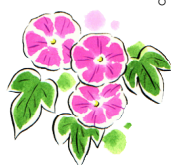
「ハチドリ」は、南北アメリカの熱帯森林に分布する、色鮮やかで、花の蜜を吸う細長い口ばしを含めても平均10cm、体重9g程の小さな鳥で、目にも止まらぬ速さで羽ばたく音が「ブンブン」と、ハチの羽音に似ていることからこう呼ばれています。

次に、この本の中心である、アンデス先住民族キチュアに伝わるお話を紹介します。

森が燃えていました。森の生きものたちは、われ先にと逃げていきました。でもクリキンデイという名のハチドリだけは、いったりきたり、くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは火の上に落とすしていきまします。動物たちがそれをみて「そんなことをしていったい何になるんだ」といつて笑います。クリキンデイはこう答えました。「私は、私

にできることをしているだけ」ここで話はおしまいで、クリキンデイが正義とは言っていない。逃げた動物は、火を消す知恵がなかったのかもしれない。子どもを逃がさずと必死だったのかもしれない。もし、気付いて皆で土をかけたり、国中の鳥が水を運んでいたら。考え方はいろいろです。

現代は、物も情報も溢れ、身の回りには便利さや豪華さや忙しい時間が存在します。自分がクタクタになり、どうしているかわからなくなった時、自信が持てなくなった時、クリキンデイの「私は、私にできることをしているだけ」という発想は、いかがでしょうか。自分の気持ちや行動が変われば、まわりの状況もきっと変わってくると思うのです。ひとりひとりが集まって「まち」が、「世界」ができていくのですから。



小学校外国語活動実践研究事業 【県教育委員会】（文部科学省委託事業）

天栄村立広戸小学校

天栄村立牧本小学校

本校は、平成21・22年度と、天栄村立牧本小学校とともに、福島県教育委員会の「小学校外国語活動実践研究事業」の指定を受け、「外国語を通じてコミュニケーション能力の素地を養う指導のあり方」を研究テーマとして研究を重ねています。

天栄村では、ALTが英語教育施設であるブリティッシュヒルズから各校に派遣され、また、各学年、年一回ブルーズを訪問して、英語を通じた活動を組み立てたり、子どもたちと異文化を交流する機会を多く経験しています。



しかし、学校における外国語活動ではALTが主体になることが多く、担任一人で外国語活動を展開するには不安なところがありました。

そこで、1年目は本校教職員の意識変革に力を入れ、「すべての担任が、いつでもすぐできる外国語活動」の考え方を基本に、学級担任が単独での外国語活動指導に積極的に取り組み、自ら積極的に英語を使うことで子どもたちのよいモデルとなるような実践を進めていきたいと思ひます。

本年度は、「学級担任による外国語活動の授業のあり方」・「学級担任とALTの効果的なT・Tによる授業のあり方」・『英語ノート』の活用の仕方を中心に研究を進めていきます。

牧本小とも連携しながら、地域全体に広がるような実践的な研究を進め、その成果を授業に還元することにより、平成23年度から本格的に実施される外国語活動の充実にも寄与していきたいと思ひます。

本校では、平成20年度に「児童一人一人が生き生きと活動する英語活動の実現～コミュニケーション能力や自己表現力を高める学習指導の在り方」の研究主題のもと、研究を進めてきました。

今年度は、「小学校外国語活動実践研究事業」実践研究校として指定を受け、昨年度の成果と反省を生かしながら、次のような研究を進めていきたいと思ひています。

- ① 文部科学省が作成する小学校における外国語活動のための教材を活用した授業の実践
 - ・「英語ノート」を参考にした、教育課程の編成
 - ・「英語ノート」やデジタル教材等の活用のあり方についての研究
- ② コミュニケーション能力の素地に関する評価の観点及び評価方法の研究
 - ・外国語活動の目標に照らした評価規準の作成
 - ・多様な評価方法（観察・評価カード・ポートフォリオなど）の検証
- ③ 児童の興味・関心等の学習状況の変容に関するアンケート等の調査の実施
 - ・年2回のアンケート実施による児童の変容確認
- ④ 教員の指導力向上のための取組み
 - ・年3回の授業研究
 - ・先進校視察



以上のような実践を通して、外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成を目指していきたいと思ひます。また、同じく指定を受けた広戸小学校とも連携を図りながら、平成23年度から本格的に実施される外国語活動において、少しでも研究成果を他の小学校に還元できるような研究を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

総務社会教育課（社会教育）からのお知らせ

○公民館訪問から

各市町村の公民館訪問を5月から順次進めています。公民館と学校との連携が図られ、教育活動の充実に地域の方々の教育力が生かされることにより、大きな力を生み出しています。さらに、子ども達は、地域で繰り広げられている公民館事業に参加し、豊かな体験をしています。

地域の教育力を借りて子どもたちの環境を醸成し、同時に地域の人々の生きがいの場を提供することは大切です。ぜひ、ネットワークの拡大を図っていただければと感じています。

○「学校支援地域本部事業実践事例研究会」の開催

本年度の「学校支援地域本部事業（文部科学省委託事業）」は、郡山市、鏡石町、田村市、三春町で実施されています。

この事業は、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間を増やすことができるとともに、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を図ることを目的としています。

これは、学校と地域人材や社会教育団体などの協力も

と、学校が必要とする活動について、地域の方々のボランティアにより実現するものです。

研究会では、市町村における実践内容について発表し、課題を共有するとともにその解決に向けて協議し、今後に役立てていただきます。

期日…八月二十九日（土）
会場…郡山市労働福祉会館

○「放課後子どもプラン地区研修会」の開催

放課後子どもプラン関係者の資質向上を図るとともに、事業の円滑な実施と多彩な活動の充実を目指して地区研修会を開催します。

対象…放課後子どもプラン関係者等
期日…十月二十九日（木）
十三時三十分～

会場…郡山自然の家
内容…講話及び実技等

○オリオン講座間もなく開催

八月一日（土）と二十九日（土）の午前九時から、郡山市の大安場史跡公園で二回にわたり、『オリジナル土器』を作ります。珍しい野焼きも体験できますので、ぜひご参加ください。一人で、ご家族で、どちらも大歓迎です。

なお、申込みは県中教育事務所でも受け付けています。詳細につきましては、県中地方振興局、または、県中教育事務所のホームページをご覧ください。

福島県学校歯科保健優良校
田村市立石森小学校

平成二十一年度福島県学校歯科保健優良校「最優秀賞」を受賞し、児童や保護者はもちろん地域の方々も大変喜んでいきます。

本校では、児童が「自分の歯や口の課題に気づく」、次に「解決を図るためめあてを持って毎日実践する」というプロセスを大切にしながら、地域や保護者と一体となって「健康に生きる力の育成」を目指し、歯と口の健康づくりを取り組んできました。その結果、歯について学び、歯の健康を維持する技術を身に付け、それを続けて実践する児童が育っています。

具体的活動として、学校では、むし歯予防教室の実施、給食の時間の「かみかみ給食」や歯と食の関連を図った指導を計画的に行っています。また、家庭や地域との連携では、「歯によいおやつづくり」、「親子で考える歯の標語」、「歯や口の健康家族会議」、「親子染め出し」を行うなど、学校の活動を知ってもらうとともに、児童と保護者が一緒に参加できる活動を工夫しています。これらは、歯みがきの習慣化を図るとともに、歯や口の健康の大切さについて知ってもらう良い機会となっています。

今後も、将来にわたり健康に生きる力のひとつとして、「歯と口の健康維持増進」を図る児童の育成に努めていきます。

地球環境を生かした取組み
「大久田小緑の少年団活動」
古殿町立大久田小学校

本校は、緑豊かな自然環境に恵まれた海抜五百十メートルにあるへき地小規模校です。全校生三十一名の小学校で、素直で何事にも元気がいっぱい。在校生で、地域環境を生かした教育活動として、緑の少年団活動を行っています。

二十九年の歴史ある緑の少年団活動は、調査活動や体験活動が課題を解決していく力の育成を図るとともに、自分たちの住む地域の環境緑化や国土緑化の一翼を担っていることを意識させ、環境教育の土台を成しています。椎茸の活動内容としては、森林の植菌、山女魚の飼育と放流、オムラサキの飼育、森林体験、バケツ稲づくり、河川の水质調査等を行っています。特に、森林体験では間伐作業を行い、その間伐材を使用した椅子や丸太小屋を造り出した。体験活動を通して道具等の使用の仕方、班の協力体制、安全面への配慮、道徳性等の数々のことを学び教育活動全体の中に生かされています。

また、地域の方々には、「自分たちの学校」という意識の下、緑の少年団活動の支援や学校環境整備等を熱心に行ってくれます。この姿を間近に見ることで、児童は父母、祖母の方々の偉大さを感じ取り、自分の方々に感謝の気持ちを持つことができるようになります。

今後、学校・家庭・地域の連携の下、健康やかな大久田の子の育成に努めていきます。

新任者紹介

「初心忘るべからず」



石川町立沢田小学校
教諭 佐藤 裕通

「先生、勉強して楽しいね、もつと勉強したい。」
ある日の休み時間に子どもが私のところにやってきて言いました。私は、この言葉を聞いた時、改めて教師になつて本当によかったと感じました。

しかし、まだまだ未熟な私は、十分に子どもよさを引き出せずに、退屈な授業になつてしまふことも多く、「あつた。ときこうしていればよかった。」と反省する毎日を送っています。日々の全てが勉強であり、採用になつてから3か月経つた今だからこそ、決して今の自分に満足することなく、もう一度、日々子どもとともに成長するという初心に立ち返りたいと思います。

子どもたち、保護者、地域の方々、諸先生方から学んだことを子どものために生かし、「勉強が分かるって楽しいな。」と思える学級となるように努めて参りたいと思います。

「スタートライン」



郡山市立大槻中学校
教諭 瀧 薫

「息つく暇もない」
この三ヶ月を象徴する一言だ。初めて経験する学級経営、教科指導、部活動、生徒指導上の問題。目まぐるしく襲いかかる行事の数々。右も左も分からず、何が分からないのかさえ分からなくなるほど忙しかった。

しかし、そんな中でも周りの先生方は優しかった。私以上に忙しいのにもかかわらず、丁寧に教えてくださり、毎回申し訳ない気持ちと感謝の気持ちでいっぱいになる。そしてまた、自分の気持ちを新たにすのだ。

スタートラインに立った、今の私にできることは、周りの先生方の真似をしながら、目の前の生徒と精一杯向き合うことだ。忙しい毎日ではあるが、彼らと過ごす日々は一瞬一瞬が喜びと驚きに満ち溢れている。「ため息をつく暇などない」のだ。

「一歩一歩チャレンジ」



岩瀬農業高等学校
教諭 折笠 由紀

岩瀬農業高等学校に赴任し、あつという間に3ヶ月が過ぎた。生徒は毎日元気に授業や実習、部活や生徒会活動と学校生活を楽しんでる。

本校に赴任して、生徒のパワーに驚かされた。生徒は農業実習で汚れに負けずに取り組んだり、生き生きと部活に取り組んだりと意欲的な姿勢が多く見られる。私の何気ない一言に興味を示し、説明を懸命に聞く生徒の姿に毎日出会ふ。その反面、興味や関心を持って、エネルギーを持って余している生徒もいる。多くの生徒は元気に活発に活動している。その姿に「負けてはいられない」と思う。まだまだ未熟な自分には、初任研で学んだ「生徒が先生」「生徒と共に成長する」という言葉がびつたりだと感じる。

生徒の気持ちに少しでも応えられるように様々なことに積極的にチャレンジし、一歩一歩成長していきたい。

学校教育課（管理）からのお知らせ

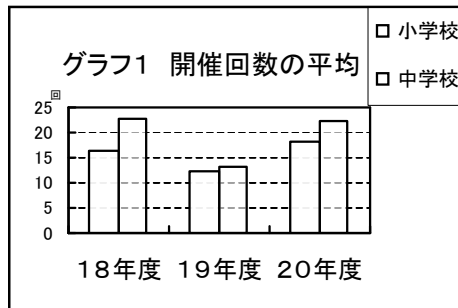
県教育委員会は、「うつくしま教育改革推進プログラム」に基づき、児童生徒の学力向上、人間性・社会性の育成に取り組んでいます。保護者や地域の理解をいただきながら改革を円滑に推進するため、教職員の不祥事はあってはならないことです。

サービス倫理委員会の活性化
～不祥事根絶を目指して～

平成十五年年度からは、各校において、不祥事根絶の具体的な取組み等について主体的に検討し、教職員に対して注意を喚起するため、サービス倫理委員会が設置されました。以来、五年が経過しましたが、各学校の創意工夫により、実効ある委員会を開催していただいているところと、今回、平成二十年区域内小中学校の委員会の開催状況がまとまりました。委員会のより一層の活性化に御活用願います。

【委員会の開催回数】

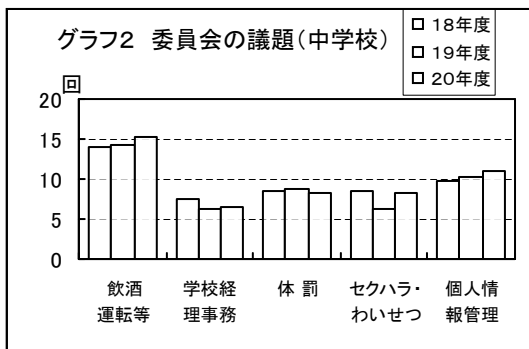
十九年度、委員会の開催回数が減少いたしました。二十年、小中学校においては二・一・四回、中学校においては二・一・一回開催され、対前年度比五〇％程度増加しました。これは、各学校に危機感が浸透したものと



考えられます。

【委員会の議題】

小中学校とも同じような傾向にあります。特に今回は中学校の数値を掲載しました。「交通事故・飲酒運転防止」「個人情報管理」など、日常的に気をつけなければなら



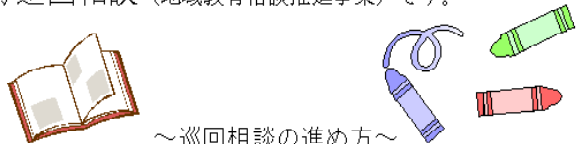
巡回相談のお知らせ

気づきを支援へ、そして、笑顔へ

発達が気になるお子さんのための巡回相談を行っています。

- 「子どもの発達が気になる・・・どこに相談すればいいの？」
- 「家庭での養育や幼稚園、保育所での保育はどうすればいいの？」
- 「LDやADHDなどの子どもにどうやって関わっていけばいいの？」
- 「学校生活での支援方法や学習指導の方法について知りたい。」

こんな悩みや不安をもつ保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の先生方や、保護者の皆様からの相談におこたえするのが巡回相談（地域教育相談推進事業）です。



- 1 下記の電話番号にお申し込みください。教育相談推進員、担当指導主事が相談を受け付けます。
- 2 巡回相談を受けたい日の希望から、日時を決定していきます。
- 3 保育所、幼稚園、小・中・高等学校、保健センターなどに巡回相談員が伺います（月～金曜日 9：00～16：00）。
- 4 特別支援学校の教員が巡回相談を担当します。

巡回相談のお申し込み、お問い合わせ先

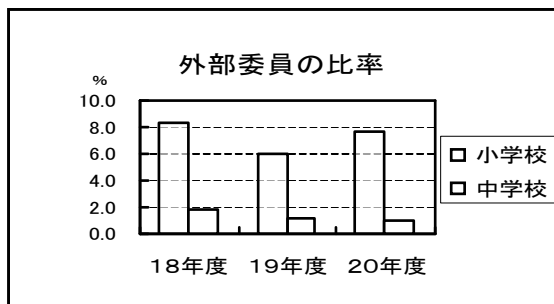
024-935-1493

県中教育事務所 月～金曜日

開設時間 10：00～17：00



ないことに具体的に対応している様子がうかがえます。【外部委員の委嘱】 サービス倫理委員会は、必要に応じて第三者機関の評価や意見が得られるよう配慮することとなっています。二十年度、小学校においては約八％、中学校においては約一％の外部委員が委嘱されています。学校外に意見を求めることにより、新たな対応策が生まれることも期待できます。積極的な導入を御検討願います。【まとめ】 不祥事の根絶を図るために、各学校において校長先生



総務社会教育課（総務）からののお知らせ

本年分から学校事務指導を事務助言と改めて67小中学校を対象に実施します。この機会に普感感じている疑問点などがありましたら担当に相談して下さい。また、該当校以外の学校は自己チェックリストにより確認して、期日までに提出をお願いします。

方の指導のもと、サービス倫理委員会が中心となり、フェイス・トゥ・フェイスを基本とした、教職員の心に響く取組みを展開されることを期待いたします。